

拝啓 親愛なる UNAFEI の皆様

こんにちは！

ペルーのリマからごあいさつ申し上げます。私は、UNAFEI の第144回国際高官セミナーに参加したエドゥアルド・ホセ・トリスタン・カストロです。このセミナーでは、「刑事司法手続の各段階における被害者のための適切な施策の拡充」について議論しました。

セミナーを終えてペルーに帰国後、私は、イキトス警察学校の教養部長に任命されました。イキトスは、ペルーの熱帯雨林地域にある都市です。私は、現在、警察学校の運営及び教養科目の指導などに携わっています。

第144回国際高官セミナーに参加した後、私は、全国の警察学校における指導カリキュラムに「犯罪被害者に対する適切な対応」という科目を加えるべきであるとの提案書を提出しました。そして、私のこの提案を上層部が採用してくれることになりました。

そこで、改めて私が正式な提案書を作成・提出したところ、これを受けて、ペルー警察内部の指示決定書に基づき、「犯罪被害者への対応」が全警察学校におけるカリキュラムに1科目として含まれることが正式に決まりました。実際に、ここ1年間、ペルーの全ての警察学校において、「犯罪被害者への対応」を指導科目に含めたカリキュラムが実施されました。ペルー国内には26の警察学校があり、未来を担う若手警察職員全員がここで研修を受けます。ですから、2010年以降、全ての若手警察職員は、「犯罪被害者への対応」について学ぶことを義務付けられるようになったのです。

私は、現在、行政学修士の学位取得に向けて勉強しています。

私が日本で様々な知識を得ることができたのは、UNAFEI の教官方、外部講師の皆様、そして私の大切な仲間である第144回国際高官セミナー参加者の皆さんのおかげであり、心から感謝しています。

敬具

エドゥアルド・トリスタン・カストロ  
ペルー国家警察 警視長